

第Ⅳ章 分析と考察

第1節 検出遺構について

本遺跡からは、縄文時代の堅穴住居跡16軒、土坑67基、溝状土坑6基、土器埋設遺構12基、弥生時代の堅穴住居跡2軒、土坑1基、柱穴群、平安時代の堅穴住居跡2軒が検出された。道路幅という限られた調査範囲、また、完掘できない遺構や時期的にはわずかな遺構数のものもあるが、特徴的な遺構について分析をしてみたい。

(1) 縄文時代の堅穴住居跡

堅穴住居跡は16軒検出した。限られた調査区域の中での検出数、また、完掘できない遺構も数軒あるのに住居跡や集落についての考察するには多少無理があるかもしれないが、特徴的な住居跡も何軒か検出されている。それらについて若干の分析を試みたい。

[住居跡の平面形と規模]

検出された住居跡の平面形と規模をみると、次の4種類に分類できる。

- | | |
|-------------------------------|-----|
| ① 円形で直径4 m前後の住居跡 | |
| 5 H、15 H、18 H | 3 軒 |
| ② 楕円形で長軸が5 m前後の住居跡 | |
| 10 H、12 H、13 H、16 H、19 H、20 H | 6 軒 |
| ③ 楕円形で長軸が7 m前後の住居跡 | |
| 3 H、4 H、8 H、9 H、14 H、17 H | 6 軒 |
| ④ 楕円形で長軸が20 m前後の住居跡 | |
| 7 H | 1 軒 |

①のグループのうち、5 H及び15 Hは他の遺構と重複したり調査区域外にかかるため、全体を把握することができなかったが、少人数の家族構成が想像される住居跡である。5 H、18 Hは堅穴内に柱穴は検出されず、炉跡は5 H中央部に若干の焼土を検出したにすぎなかった。3 軒とも確認面からの深さは25～40 cm前後と比較的浅い特徴を持つ。18 Hの床面からは円筒下層 d 式土器が検出されており、ほぼ同時期の住居跡と思われる。

②のグループは切り合い関係が10 Hと18 H、3 Hと12 H、48 土と16 H、85 土と20 Hに認められ、10・18・20 Hを除き同グループが古いことが確認できている。柱穴は全ての住居から検出され、炉跡は10 Hを除く他の5 軒から検出されている。①グループ同様、確認面からの深さは20～40 cm前後と比較的浅い特徴を持つ。19 Hの床面及びピット内より円筒下層 d 式土器が検出されており、ほぼ同時期の住居跡と思われる。

③のグループは3・9 Hを除く4 軒が一部調査区域外にかかるため全体を把握することはできなかった。柱穴は全ての住居跡から検出されている。炉跡は17 Hを除く他の住居から検出されている。

17Hも調査区域外の未調査部に存在するものと思われる。確認面からの深さは40～80cm前後と比較的深いのが特徴である。

④のグループは1軒だけの検出で、大型の堅穴住居跡である。ほとんどが調査区域外に存在するが、主柱穴と思われる柱穴が1基検出されている。確認面からの深さは72cmを計測する。

[炉跡について]

炉跡を検出した住居跡は11軒である。4・9・16Hが2基検出された他は1基の検出である。4・9Hは立て替えによるものと認定できたが、16Hについては何故2基存在したのかは不明である。検出した炉跡は全て地床炉である。

[柱穴の配置について]

柱穴を検出できた住居跡は14軒あるが、主柱穴を特定できたのは11軒で、そのうち完掘できたのは7軒である。それらを分類すると、

- ① 2本柱のもの 18H
- ② 4本柱のもの 3H、9H、
- ③ 5本柱以上のもの 4H、12H、13H、16H、

の3種類に分類できる。①グループ18Hについては10Hと北側の壁を切られているため断定はできないが、おそらくは2本の主柱穴を持つものと推察される。②グループの9Hは6本の主柱穴が検出されているが、2本は住居立て替え時に埋め戻されたものと確認された。③グループの中では13Hと16Hに類似性が認められる。2軒ともに4本の主柱穴の対角線のほぼ交点に1本の柱穴を有する。4Hは合計9本の主柱穴が検出されているが、切り合いが認められるものもある。一部調査区域外にかかるが、6本柱の構造を持つものと推察される。12Hは壁際に柱穴を巡らすものであるが3Hと切り合い関係にあるため本数は不明であるが多柱穴と推察される。

(2) 土坑

本遺跡の調査区域から検出された土坑は、全部で67基である。これらの土坑は形態から次の2種類に大別できる。

A類：平面形が円形あるいは楕円形を呈し、断面形が「箱」形あるいは「鍋底」形を呈するもの。

B類：平面形が円形あるいは楕円形を呈し、断面形が「フラスコ」形あるいは「袋」形を呈するもの。

A類に分類される土坑は30基検出され、規模によりさらに4種類に分けられる。

a種は平面形の規模が1m前後で深さが30cm前後のもので、遺物がほとんど出土しないものが大半を占めるが、第29・48号土坑のように遺物を伴うものは土坑墓と考えられる。

b種は平面形の規模が1m前後で深さが1m前後のもので、前述したように陥し穴と考えられるものである。

c種は平面形の規模が3m前後で深さが50cm前後で、第52・82号土坑のように堅穴状を呈するもので、炉跡等は検出されていないものの堅穴住居跡の可能性も考えられる。

d種は平面形の規模が3 m前後で深さが1 m前後のもので、ほとんどが人為的に埋められているのが特徴で、遺物はあまり出土していない。用途は不明である。

B類は所謂フラスコ状土坑であり、44基検出された。遺構確認面での開口部に拵れ部を有する袋状ものと、開口部より下部に拵れ部を有するフラスコ状ものとは大きく分類されるが、袋状のものは堆積土の様子から開口部が崩落したものと推察される。

本遺跡のフラスコ状土坑には、底面に小ピットを有するものが4基検出されているが、中央部に検出されているのはこの内の3基で、溝を有するものは1基も検出されていない。本遺跡のフラスコ状土坑のほとんどが基本層序Ⅶ～Ⅷ層を底面にしており、水はけに関しては比較的良好な状態を保っている。従って、本遺跡のフラスコ状土坑の底面にある小ピットは、従来指摘されている排水のための施設と考えるより、別の機能を持った施設と考えた方が妥当であろう。

(3) 溝状土坑

本遺跡で溝状土坑は、全部で6基検出されている。占地の状況は1基を除いて長軸が等高線にほぼ平行して検出されているが、分布の間隔等に規則性はみあたらない。平面の形態は直線的なものと両端が少し膨らむものとの2種類に分類される。構築時期を示す良好な資料は出土していない。

(4) 弥生時代の竪穴住居跡

本遺跡から検出された弥生時代の竪穴住居跡は2軒で、基本的には4本の主柱穴と中央部の石囲い炉を有する構造である。2軒ともに直径8 mを越えるほぼ円形の住居で、第1号住は壁柱穴を、第2号住は壁溝を巡らしている。他遺跡のこれまでの調査結果から、構造的には同時期の住居跡と大きな相違点はみつからなかった。本遺跡の住居跡は切り合い関係は認められないが、かなり近接して検出されている。第1号住は焼失家屋であるが、第2号住との同時存在の可能性は低いと考えられる。占地的には、台地南側の縁辺部に沿って集落が展開されていたものと推察される。

(笹森)

第2節 出土した石器について

1、57土出土の両面加工石器について。

出土状態

7点の両面加工石器は正確には57土の開口部のへりから出土している。出土層位は覆土の第3層から6層にあたる。したがって57土が本来の機能を終えた時点より後のものである可能性が高い。

石器は1から7の順番で上から重なって出土したが、これに伴うピットなどの施設は確認されなかった。出土状態で注目された点は、すべての石器が長軸をほぼ同じ方向に向けていたことである。その方位や出土状態に関する細かな記録はされていないがほぼ北西の方向に長軸に向けて置かれていた。なお57土からは覆土中より円筒上層a式と推定される土器の碎片が数点出土しているのでこの石器集中の形成された時期は少なくともそれ以降ということになる。

形態

平面形は概ね楕円形を呈するが短冊形に近いもの(3)や片方の端部が尖り気味のもの(6・5)もある。側面観は側縁の稜線がほぼ中央に来るものと、どちらか片方に偏り横断面形が蒲鉾型に近い形状を呈するものに分かれる。しかし全体としての規格性はあまり見られないと思われる。

調整

全体的に大きな剥離により全体形状を作り出している。しかし所々に形状を整えたであろう細かい剥離が見られる。また素材となった剥片の剥離面を大きく残すものも見受けられる(2・5・7)。それらを見る限りでは、大きめの原石を適当な大きさに分割したものか大型の横長剥片などを素材としていることがわかる。元になった原石が何個体かは明確ではないが、色彩や混入物等においてはほぼ同じような様相を示しているためこの中のいくつかは同一の母岩から作られている可能性がある。また、剥離の進行状況を見る限りきわだった規則性は見られなかったが、片面を作り出した後にもう片面の剥離に取りかかっているものが数点あった(1・2・3・5・7)。それらの中には片方の面により多くの剥離が加えられたものがある(1)。また、(2・4)に顕著であるが素材の厚みを必要なだけ減じただけの剥離で終了しているものもある。なお(5)には尖頭部の作り出しが弱いながらも見られるが、その他のものには機能に結びつくと思われる調整剥離は看取されない。

長さは(4)をのぞいてほぼ14cm付近にまとまっている。厚さは少々ばらつきがあるが2.2cm～3.2cmにまとまっている。平均重量は90.2gである。尚、4、6を除くとおおよそ70～80gのあたりにまとまっている。

分類の項目においてこれらの石器に両面加工石器という名称を付けたが、その名の示すとおりこの石器がどのように使われたのかは、形態や加工の状態を見る限り非常に判断が難しいところである。打製石斧や筥状石器とも形状において違うようである。さらにこれらの石器の調整加工は先にふれたように素材の厚さを減じるものがその大半を占め、刃部等の機能面を作り出したような剥離の痕跡には乏しい。したがって何らかの用途に直接使われたとは言い難いように思われる。何かに利用するためにあら削りを施したものととも考えられるが断定は出来ない。

このようにこれら1群の石器は通常遺跡で見られるような石器とは出土状態や形状等において性格を異にしている。県内においてこのような石器が集中出土した例は野辺地町概ねノ木遺跡に似たような

事例がある。槻ノ木遺跡では29点の剥片石器がほぼ1カ所にまとまって出土しているが、遺構には伴っていない。槻ノ木遺跡の石器群には打製石斧または大型筭状石器という名称が付けられている。さらに形状や加工においてかなりまとまりを持っており、その機能においても木工具ではないかと報告されている(畠山等)。また、側縁に摩滅した痕跡を持つものがあることから、一度使用されて、その後集積されたとも考えられている(田中1995)。県内で知られる類似した事例はこの1例であるが今後他県の事例があるかどうか、その時間的な問題はもちろんのこと、このような状態で出土する意味など、検討していく必要がある。

2、68土及びその周辺より出土した一群の石鏃について。

68土からは3点の石鏃と環状石製品が出土した。それらの石鏃はすべてⅡ類aに分類される。68土の存在するグリッド内からも極めて形態的に類似した石鏃が合計6点出土した。また出土地点の不明なものの中にも1点似たものが存在する。なお石材はすべて珪質頁岩である。

出土状態

68土は67土に約半分を壊される形で確認された。覆土は複数に分層されていないので同様の土が一樣に堆積していると思われるが、覆土中から出土した遺物と同様の遺物が周囲に散らばった状態で発見されているために、この土坑内の上部は攪乱を受けていると判断される。遺構内で確認された遺物については細かな出土位置等の記録がなく大まかなことしか言えないが、概ね底面から浮いた状態で出土している。なお、67土からは円筒上層a式の土器が出土しているため68土は少なくともそれ以前の遺構である。なおその他に環状の石製品が出土している。

形状

基本的に木葉形で器厚は薄く、調整刻離に平坦な刻離が使用されていることが大きな特徴である。また、最大幅が器体中央によるものとやや中央からずれるものがある。さらにどちらか片方の端部をより尖鋭に造り出しているものも特徴的である。本遺跡で出土した石鏃の多くは幅に対して厚さがあり、形状に目立ったまとまりがないのに比べると、この石鏃の一群はやや異質である。そして長さ、幅に対して厚さが非常に薄いことから、外見上他の石鏃と比べると、精緻に出来てはいるが華奢に見える。

同様の状態で確認された例は未報告ではあるが秋田県池内遺跡群にある。池内遺跡群で確認された土坑(SKS208、SKS394)から、とくにSKS208より大量の石鏃が出土している。遺構の時期は出土した土器より円筒下層d式の時期である。それらのすべてが津山遺跡の出土例と類似するわけではないが、どちらかの端部をより尖鋭に作り出している石器があることなど、非常によく似たものが多いことは確かである。池内遺跡群ではこのような遺構の性格を土坑墓と見ている。津山遺跡においては遺構の形状や出土状態に若干の不安があるが、これらの石鏃は池内遺跡群と同様に土坑墓に埋葬されたものと考えられる。

3、礫石器第Ⅰ群について

分類の項でふれたとおり、礫石器第Ⅰ群は素材の長軸両端を打ち欠いて作られた石錘を一応基本の形態としている。しかしa類の中に敲打痕を併せ持つものやb2類に見られるようにa類の側面に擦

り面を持つものなどが存在しているようにこれらの石器には複数の用途があった可能性もある。

また、はじめにa類について石錘というふうと呼んだが、これは打ち欠きによる挟りがあるということからそう呼んだのであって、実際におもりとしての機能を有していたかはさだかではない。実際b1類に見られるように擦り面を切る形で長軸両端に挟りに近い加工を施しているものもあることから、擦り面の方が比較的主体となる機能であった可能性が強い。なお、県内の縄文時代の遺跡においては石錘をよく出土する遺跡があるが、一般的には10cm前後のものが多く、本遺跡で出土したような大型で重量のあるものについてはあまり出土の例を見ない。

次にc類とd類についてであるが、この2つのグループは形状や加工の面において非常によく似ている。両者の違いは表裏両面より剥離を加えた面と反対側の側縁に擦り面を持つか持たないかである。擦り面と反対側の加工についてはチョッピングツール状の加工が施されているため、擦り面とは別の機能があったとも考えられるが、単に形状を整えるかまたは器体保持のための加工と考えられる方がよいと思われる。d類には擦り面を持つものをまとめたが、擦り面の範囲が広いものや、そうではないものがある。擦り面の広いものについては器体の幅もc類に比べると狭く、正面観も楕円というより長方形に近い感じがする。したがってd類については、おそらくc類やd類の擦り面の幅の狭いものが使用によって形を変えたものと考えられる。

先述したように第I群c類、d類はそのほとんどが遺構内から出土している。その遺構の時期については概ね円筒上層a式にあたるようである。このような比較的幅の広い擦り面を持つ石器は縄文時代に見られるが、様々な形態が存在しているようである。そしておおむね楕円形の礫を多用しているところに共通点がある。しかしその時期的な関係については未だ不明瞭な点が多いことから、今後県内の資料を集成するなどして解明につとめたい。

なお、今回の報告では、諸般の事情から十分な分析をすることができなかった。いずれ何らかの形で責を果たせればと思う。

(茅野)

第V章 自然科学的分析

第1節 出土火山灰の蛍光X線分析

奈良教育大学 三 辻 利 一

1) はじめに

青森県下の平安時代の地層には広く、白頭山火山灰と十和田a火山灰が堆積している。十和田a火山灰の降下年代は扶桑略記の記述から西暦915年と推定されている。これより上位に堆積する白頭山火山灰の降下も10世紀代と考えられている。両火山灰は同一遺跡に堆積しているとは限らないので、何らかの方法で同定する方法を見つけないといけない。蛍光X線分析法によって、両者の相互識別は簡単にできることが見つけられている。因子はK、Ca、Rb、Srである。本報告でも、これらの因子を使って、津山遺跡から出土した火山灰の蛍光X線分析の結果について報告する。

2) 分析結果

分析値は表1にまとめられている。はじめに、主成分元素K、Caについて分布図を作成した。図166にK-Ca分布図を示す。この図にはこれまでの分析データに基づいて白頭山領域と十和田a領域を示してある。2点の試料はともに、白頭山領域に分布する。

次に、微量元素について、Rb-Sr分布図を図167に示す。通常、RbはKと、SrはCaと正の相関性をもつので、K-Ca分布図での分布と似た分布をする。予想通り、図167でも2点の試料は白頭山領域に分布する。

図168にはFe因子を比較してある。通常、白頭山火山灰の方がFeの含有量が多く、外見上は黄色味を帯びる。他方、十和田a火山灰にはFe量が少なく、白色火山灰である。ただ、十和田a火山灰が周囲の土壤に汚染されると黄色味を帯び、外見上は白頭山火山灰と見間違えることがある。図168にみると、2点の試料はFe因子でも白頭山領域によく対応していることがわかる。

このように、K、Ca、Rb、Sr、Fe因子が火山灰によく対応する場合には、Na因子はほとんど風化汚染を示さない。表1にみると、Naの分析値をいずれも1を越えており、試料は火山灰であることを示している。

以上の結果、津山遺跡から出土した2点の火山灰は白頭山火山灰であると判定される。

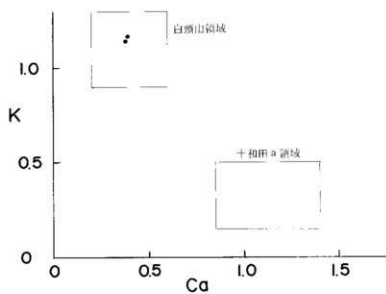


図166 K - Ca 分布図

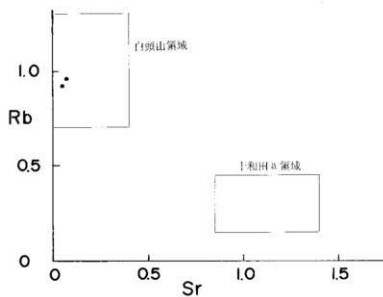


図167 Rb - Sr 分布図

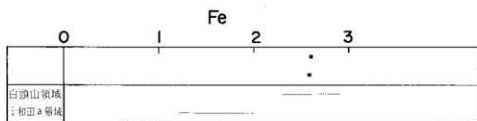


図168 Fe 因子の比較

第2節 出土須恵器の蛍光X線分析

奈良教育大学 三 辻 利 一

1) はじめに

青森県内の遺跡出土須恵器はほとんどが9～10世紀代のものである。10世紀代に入ると、地元五所川原窯群で須恵器生産が盛んになるので、地元産の製品が主として青森県内の遺跡には供給されているものと思われる。この時期になっても、外部地域から須恵器は持ち込まれているのかどうか。また、9世紀代には外部地域からの搬入品が多いと思われるが、その供給源はいくつくらいあったのか興味をもたれる。

本報告では津山遺跡から出土した2点の須恵器から蛍光X線分析の結果について報告する。

2) 分析結果

分析値は表1にまとめられている。同時に測定した岩石標準試料JG-1による標準化値で示されている。図169にはK-Ca分布図が示されている。この図にはこれまでに分析されている五所川原窯群出土須恵器をほとんど包含するようにして、五所川原領域を示してある。この領域は定性的にしか境界を示さないが、それでも、比較対照のための領域としては十分役に立つ。図1にみると、No. 1、2とも、主成分元素K、Caでは五所川原領域に全く対応しないことがわかる。このことから、これら2点の須恵器は五所川原窯群の製品ではないことがわかる。

図170には微量元素のRb-Sr分布図を示す。No. 1、2とも、五所川原領域の境界付近に分布する。通常、2群間判別分析でD2（五所川原） ≤ 10 の五所川原窯群への帰属条件を満足する試料はK-Ca分布図とRb-Sr分布図の両方で五所川原領域内に分布する。したがって、No. 1、2はK、Ca、Rb、Srの4因子からみて五所川原窯群の製品ではない。さらに、これを指示するデータとしてFe因子がある。五所川原窯群の製品にはFe量が多い。標準化値にして3.0を越える。ところが表1をみると、No. 1、2ともFeの分析値は3.0以下である。以上のことからNo. 1、2は五所川原窯群の製品ではないと判断される。外部地域からの搬入品である。

そこで、表1の全分析値を点検すると、No. 1とNo. 2は全因子で類似していることがわかる。つまり、No. 1とNo. 2は同じ生産地の製品なのである。その生産地は何処か。K-Ca分布図とRb-Sr分布図での分布位置からみて、秋田県産の須恵器と推定される。岩手・宮城県産の須恵器ではない。

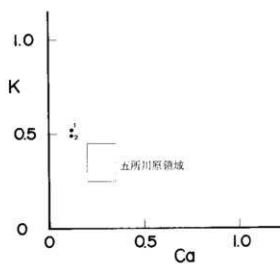


図169 K-Ca 分布図

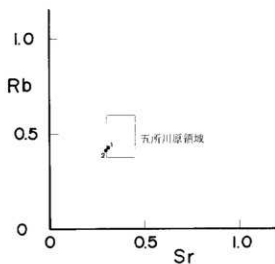


図170 Rb-Sr 分布図

表1表 津山遺跡出土須恵器の分析データ

No.	出土地点	層位	器種	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na	測定結果
No. 1	11	H	床 面	0.552	0.118	2.02	0.429	0.306	0.204	購入 (秋田県)
No. 2	11	H	床 面	0.489	0.124	2.21	0.422	0.268	0.192	購入 (秋田県)

第3節 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書

学習院大学教授 木 越 邦 彦

1996年3月5日

1995年12月18日受領致しました試料についての年代測定の結果を下記の通り御報告致します。

なお年代値の算出には ^{14}C の半減期として LIBBY の半減期 5570 年を使用しています。また付記した誤差は β 線の計数値の標準偏差 σ にもとづいて算出した年数で、標準偏差 (ONE SIGMA) に相当する年代です。また試料の β 線計数率と自然計数率の差が 2σ 以下のときは、 3σ に相当する年代を下限の年代値 (B.P.) として表示してあります。また試料の β 線計数率と現在の標準炭素 (MODERN STANDARD CARBON) についての計数率との差が 2σ 以下のときは、Modern と表示し、 $\delta^{14}\text{C}\%$ を付記してあります。

記

Code No.	試料	年代 (1950年よりの年数)
GaK-19165	炭化材 from 青森県深浦町津山遺跡	2130 \pm 80
	No 1 第1号住居跡床面直上から採取 遺構確認面から約10cm下部	180 B.C.
GaK-19166	炭化材 from 青森県深浦町津山遺跡	4500 \pm 80
	No 2 第24号土坑底面上から採取 遺構確認面から約110cm下部	2550 B.C.
GaK-19167	炭化材 from 青森県深浦町津山遺跡	4800 \pm 100
	No 3 第14号住居跡床面上から採取 遺構確認面より約25cm下部	2850 B.C.

第Ⅵ章 ま と め

本遺跡の発掘調査の成果をまとめると以下のようになる。

津山遺跡の発掘調査において検出された遺構や遺物は大きく分けると縄文時代、弥生時代、平安時代に分けられる。

縄文時代に属する遺構は竪穴住居跡、土坑、溝状土坑、土器埋設遺構が検出されている。縄文時代前期から中期にかけての遺構がほとんどである。縄文時代前期～中期にかけての竪穴住居跡は調査区南部から中央部にかけて検出され、フラスコ状を呈する土坑は調査区の中央部に2列の弧を描くように検出されているが、同時存在か時期差があるのかは今回の調査では明確にすることはできなかった。陥し穴と考えられる溝状土坑は、竪穴住居に近接して検出されているものもみられ、狩猟区域とされていた時期と居住区域とされていた時期に差があったものと推察される。

弥生時代に属する遺構は竪穴住居跡、土坑、柱穴群が検出されている。竪穴住居内の小ビットから出土した小型の土偶や柱穴群付近から出土した大型の中空土偶は、弥生時代の土偶の性格を考える上で貴重な資料となると言えよう。

平安時代の遺構は竪穴住居跡が検出されている。比較的小型の住居で、1人あるいは少人数の家族構成が想像される。調査区東側から検出されており、集落が展開されているとすれば東側調査区外に推定できるが数軒単位で集落が営まれていた可能性も考えられる。

(調査担当者一同)

引用・参考文献

- | | | |
|----------|------|--------------------------------------|
| 青森県教育委員会 | 1977 | 『水木沢遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第34集 |
| 青森県教育委員会 | 1978 | 『熊沢遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第38集 |
| 青森県教育委員会 | 1982 | 『松原遺跡・陣馬川原遺跡・槻ノ木遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第77集 |
| 青森県教育委員会 | 1988 | 『館野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第119集 |
| 青森県教育委員会 | 1989 | 『山崎遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第68集 |
| 青森県教育委員会 | 1989 | 『弥次郎窪遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第128集 |
| 青森県教育委員会 | 1995 | 『熊ヶ平遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第180集 |
| 青森県教育委員会 | 1996 | 『平野遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第193集 |
| 弘前市教育委員会 | 1990 | 『砂沢遺跡 本文・図版編』 |
| 村越 潔 | 1974 | 『増補 円筒土器文化』考古学選書10 雄山閣出版 |

津山遺跡出土石器觀察表

遺構外出土

第1・2層出土

(R、F：不定形切片石器)

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
143-35	1	ⅡS-14	T層		石器	Ⅱb	56.5	18	9	8.1	埴簀貝岩	
143-4	2	ⅡV-13	T層		石器	Ta	32.5	18	4	1.6	埴簀貝岩	
142-26	3	ⅡW-10	T層		石器		83	33.5	16.5	46.6	埴簀貝岩	
141-5	4	ⅡX-10	T層		石器	Ta	42.5	13	4.5	1.4	埴簀貝岩	
142-23	7	ⅡX-8	T層		石器	Ⅱb	38.5	18	11	4.2	埴簀貝岩	
144-43	9	ⅡZ-11	T層		石器	Ⅱd	46.1	28	10	9.9	埴簀貝岩	
145-45	11	ⅡA-10	T層		石器	Ⅱd	57	43.5	8.5	19.3	埴簀貝岩	
144-44	12	ⅡA-11	T層		石器	Ⅱd	59	30.5	8	9.2	埴簀貝岩	
146-59	13	ⅡD-8	T層		磨製石器		75	31	15	53.5	砂岩	
146-57	14	ⅡW-10	T層		R-F		52.5	32.5	7	9	埴簀貝岩	
147-62	15	ⅡY-14	T層		R-F		52.5	35.3	7.5		埴簀貝岩	
147-64	16	ⅡA-11	T層		R-F		61.5	41	11.5	30.6	埴簀貝岩	
153-88	1	ⅡA-6	T層		礫石器	Tb	155.5	83	32.5	660	安山岩	断面
162-116	4	ⅡC-6	T層		礫石器	Ⅱc	129.5	93.5	41	658	右美安山岩	
162-148	6	ⅡC-6	T層		礫石器	Ⅱc	103	78	33	34	安山岩	
158-120	7	ⅡY-6	T層		礫石器	Ⅱbl	96	85	24	228	安山岩	
161-144	8	ⅡY-6	T層		礫石器	Ⅱc	113.5	64	26	243	砂岩	
163-150	9	ⅡY-7	T層		礫石器	Ⅱc	117	151.5	18	159	砂岩	
156-106	10	ⅡY-7	T層		礫石器	Ⅱbl	121	70	24	191	安山岩	
157-115	11	ⅡY-7	T層		礫石器	Ⅱbl	88	61.5	18	115	安山岩	
154-94	12	ⅡY-11	T層		礫石器	Tbz	152	83.5	25	52	細粒凝灰岩	
156-108	13	ⅡY-12	T層		礫石器	Ⅱa	118.5	66	19.5	165	安山岩	
152-85	14	ⅡY-11	T層		礫石器	Tbz	138.5	100	39	200	流紋岩	断面
149-73	15	ⅡV-9	T層		礫石器	Ta	145	79	39	571	砂岩	
152-86	16	ⅡW-9	T層		礫石器	Tbl	142.5	75	34	358	流紋岩	断面
149-74	20	ⅡW-12	T層		礫石器	Ta	169	102.5	44	963	右美安山岩	
119-123	25	ⅡZ-9	T層		礫石器	Ⅱd	85	101	20	209	細粒凝灰岩	
155-96	26	ⅡZ-9	T層		礫石器	Tc	76	82	27	252	流紋岩	
158-118	27	ⅡZ-10	T層		礫石器	Ⅱbz	157	66.5	22	285	凝灰岩	
156-105	28	ⅡZ-10	T層		礫石器	Ⅱa	153	78	27	385	安山岩	
161-141	29	ⅡZ-10	T層		礫石器	Ⅱc	149	88	57	681	右美安山岩	
160-137	30	ⅡZ-10	T層		礫石器	Ⅱa	146	74	30	426	細粒凝灰岩	
154-95	32	ⅡZ-10	T層		礫石器	Tbz	149	116	44	1080	安山岩	
154-92	33	ⅡZ-11	T層		礫石器	Tbl	129	70.5	26	294	凝灰岩	
	34	ⅡZ-12	T層		礫石器	Ⅱc	156	69	33	506	安山岩	
151-81	35	ⅡZ-13	T層		礫石器	Ta	94	105	35	560	安山岩	
152-99	36	ⅡZ-13	T層		礫石器	Tbz	69.5	112.5	35	340	安山岩	
159-130	39	ⅡA-11	T層		礫石器	Ⅱd	156	70	38.5	541	輝綠閃岩	
159-126	40	ⅡP-5	T層		礫石器	Ⅱc	117.5	79.5	24	242	安山岩	

第3層出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
141-37	1	ⅡE-3	Ⅱ層		石器	Ⅱb	61.5	31	7	11.5	埴簀貝岩	
141-15	2	ⅡG-19	Ⅱ層		石器	Ⅱa	32	13	3.5	1.2	埴簀貝岩	
148-68	3	ⅡH-23	Ⅱ層		磨製石器		82	59	31	243	砂岩	
146-33	6	ⅡT-18	Ⅱ層		石器(欠)	Ⅱa	29	31	9	9.4	埴簀貝岩	
146-35	7	ⅡU-15	Ⅱ層		石器(欠)		91.5	46	29	97.2	玉珎	
142-21	9	ⅡV-14	Ⅱ層		石器(欠)	Ⅱa	47.5	17	5	1.6	埴簀貝岩	
148-67	10	ⅡW-9	Ⅱ層		磨製石器					91.2	砂岩	
146-11	11	ⅡW-10	Ⅱ層		R-F		109	42.5	13.5	61.4	埴簀貝岩	
145-46	12	ⅡW-11	Ⅱ層		石器	Ⅱ	60.5	40	10.5	24.1	埴簀貝岩	

図物番号	型牌番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
147-65	1-3	B-A-7	II層	石片	R-F		46.4	26	11	8.8	埴原頁岩	
147-7	1-4	B-Y-8	II層	石片	T-b		32	12.5	6	2.1	埴原頁岩	
143-33	1-5	B-Y-9	II層	石片	II-a		75	33.3	8.3	9.3	埴原頁岩	
144-42	1-6	B-Y-11	II層	石片	II-c		56	30	9.3	11.2	埴原頁岩	
143-32	1-7	B-Y-14	II層	石片	II-b		92	74.5	9.5	16.2	埴原頁岩	
141-1	1-8	B-Z-6	II層	石片	T-a		50	17.5	8	6	埴原頁岩	
145-19	1-9	B-Z-7	II層	石片	IV-c		89.5	36	9.1	25.1	埴原頁岩	
141-17	2-3	B-Z-8	II層	石片	II-b		3.8	0.5	1	1.7	埴原頁岩	
141-8	2-1	B-A-8	II層	石片	T-b		35	10.5	17	2.6	埴原頁岩	
142-24	2-2	B-A-11	II層	石片			100.4	37.5	19.3	61.5	埴原頁岩	
141-19	2-3	B-A-12	II層	石片	T-b		29	11	5	1.4	埴原頁岩	欠
145-32	2-4	B-B-5	II層	石片	II-a		54	28	2.3	19.4	埴原頁岩	欠
141-14	2-5	B-C-6	II層	石片	II-a		38	14	4.4	23	埴原頁岩	
141-39	2-7	B-D-3	II層	石片	II-c		74	36.5	9.5	23	埴原頁岩	光沢
141-3	2-8	B-D-3	II層	石片	T-a		33	21.5	8	4.4	埴原頁岩	光沢石片
152-22	2-9	B-F-4	II層	石片	II-a		40.3	17	4	3.3	埴原頁岩	
147-63	3-0	B-U-13	II層	R-F			31.3	34	9	13.7	埴原頁岩	
146-38	3-1	B-W-10	II層	R-F			51	29	8	8	埴原頁岩	
151-80	4-0	B-H-21	II層	礫石片	I-a		121	66	22.5	263	埴原頁岩	
143-154	4-2	B-K-23	II層	礫石片	V		117	103.3	49	672	埴原頁岩	
149-135	4-4	B-P-3	II層	礫石片	II-a		122	55	39	347	埴原頁岩	
158-117	4-5	B-M-23	II層	礫石片	II-a2		121.5	71	27	302	埴原頁岩	
150-76	4-6	B-M-23	II層	礫石片	I-a		183	117	45	1456.7	埴原頁岩	揃り
149-70	4-7	B-M-24	II層	礫石片	I-a		182	119	48	1709	安山岩	
157-111	4-8	B-M-24	II層	礫石片	II-b1		147	76	32	172.2	埴原頁岩	揃り
151-91	4-9	B-M-24	II層	礫石片	I-b1		190.5	114.3	48	1308	埴原頁岩	揃り
143-151	5-0	B-S-14	II層	礫石片	IV		134	89	35	499	安山岩	
160-134	5-1	B-T-14	II層	礫石片	II-a		157	43.5	25.5	215	安山岩	
163-152	5-2	B-T-14	II層	礫石片	IV		130	87	30.3	454	安山岩	揃り
159-125	5-4	B-U-11	II層	礫石片	II-c		125	12.5	18	178	埴原頁岩	
158-121	5-5	B-U-11	II層	礫石片	II-c		154	49	23	222	埴原頁岩	
158-123	5-8	B-U-14	II層	礫石片	II-c		141.1	71	36	465	埴原頁岩	
159-131	5-9	B-U-14	II層	礫石片	II-d		144	94	36	588	埴原頁岩	
193-90	6-0	B-V-12	II層	礫石片	I-b1		125	71.5	32	392	安山岩	揃り
145-25	6-3	B-W-10	II層	礫石片	II-c		109.2	66	23	170	埴原頁岩	

第5層

図物番号	型牌番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
143-29	1	B-B-23	II層	石片	T		69.5	25	11	18.1	埴原頁岩	
143-34	2	B-L-19	II層	石片	II-b		65	30	10	18.3	埴原頁岩	光沢
143-36	3	B-L-20	II層	石片	II-b		57	37	11	18	埴原頁岩	光沢
143-28	4	B-O-13	II層	石片	I-a		132	41.2	14	30.6	埴原頁岩	
141-8	5	B-P-15	II層	石片	II-a		58	19	4	2.6	埴原頁岩	
141-11	6	B-P-15	II層	石片	II-a		45	22.5	4	8.3	埴原頁岩	
141-16	7	B-P-15	II層	石片	II-a		45.5	12.5	4	1.9	埴原頁岩	
141-12	8	B-Q-14	II層	石片	II-a		45	17	4.5	1.6	埴原頁岩	
141-13	9	B-Q-14	II層	石片	II-a		50	12.5	5	2.6	埴原頁岩	
141-16	10	B-Q-15	II層	石片	II-b		45	23.5	9.5	4	埴原頁岩	
141-9	11	B-Q-15	II層	石片	II-a		52	28.5	3.5	1.2	埴原頁岩	アスファルト
141-41	12	B-Q-16	II層	石片	II-c		58	30.5	9.5	12.5	埴原頁岩	
164-157	1-3	B-S-20	II層	礫石片	M		49	68	30	39.1	埴原頁岩	石片
147-66	1-4	B-T-11	II層	R-F			52	34	13.5	23.2	埴原頁岩	
141-20	1-5	B-T-14	II層	石片	II-C		31	11	8	2	埴原頁岩	
145-50	1-6	B-U-10	II層	両面加工石片	T		87	29	25.5	23.1	埴原頁岩	

編號	岩性	出露位置	出露高度	構造	大 分 類	組分	長度 (mm)	寬度 (mm)	厚度 (mm)	重量 (g)	石 材	備 考
145-47	1.7	II-11	岩壁		片岩	IV a	45.5	14	9.9	14.5	片麻岩	
145-51	1.9	II-13	岩壁		海成細晶岩	II a	52.3	31.5	10	12.8	片麻岩	石壁欠損
141-6	2.0	II-15	岩壁		片麻	I b	36.5	16	7.5	9.9	片麻岩	
144-40	2.1	II-16	岩壁		片岩	II c	54.9	31	8.5	12.8	片麻岩	
164-38	2.2	II-8	岩壁		片岩		84.5	25	12	9.9	片麻岩	
143-30	2.3	II-9	岩壁		片岩	I a	89	22	9	21.1	片麻岩	
144-38	2.5	II-10	岩壁		片岩	II c	61	29.5	9	19.8	片麻岩	
145-27	2.6	II-5	岩壁		片岩		77	29.5	16	31.3	片麻岩	
147-61	2.7	II-9	岩壁		片岩		51.5	33.5	8.5	12.1	片麻岩	
146-54	3.8	II-10	岩壁		片岩	II a	68	44.5	16.5	35.5	片麻岩	石壁欠損
141-2	2.9	II-11	岩壁		片麻	I a	41	19	5	2.6	片麻岩	
145-48	3.1	II-11	岩壁		片岩	IV b	43.5	57.5	9		片麻岩	
147-59	3.2	II-11	岩壁		片岩	I a	26	38	14		片麻岩	
147-60	3.3	II-15	岩壁		片岩		76.5	29	8		片麻岩	
146-158	3.4	II-17	岩壁		片岩	II	598	69	25		片岩	石壁欠損
157-109	6.3	II-17	岩壁		片岩	II c	155.3	116	48	246	片岩	
151-79	1	II-13	岩壁		片岩	I a	184.5	73.5	41.5	390.3	片岩	
157-114	2	II-13	岩壁		片岩	II b1	143	50	36.1		片岩	
155-101	3	II-13	岩壁		片岩	II a	212	74	28	65.4	片岩	
157-84	4	II-13	岩壁		片岩	I b1	182	93.5	44.5	102.9	片岩	
150-77	6.6	II-21	岩壁		片岩	I a	155.5	116	48	1240	片岩	
156-104	6.7	II-17	岩壁		片岩	II a	187	86	23	432	片岩	
157-112	6.8	II-18	岩壁		片岩	II b1	151	73.5	21	35.4	片岩	
189-75	7.2	II-21	岩壁		片岩	I a	145	68	31	45.4	片岩	
180-132	7.3	II-21	岩壁		片岩	II a	125.3	69	45	505	片岩	
155-97	7.4	II-21	岩壁		片岩	I b2	87	78	31.5	385	片岩	推卸
156-102	7.5	II-21	岩壁		片岩	II a	189	85	34	71.4	片岩	
158-116	7.6	II-14	岩壁		片岩	II b1	172	78.5	25	338	片岩	
161-140	7.8	II-16	岩壁		片岩	II b	143	77.5	34	41.4	片岩	
161-139	7.9	II-12	岩壁		片岩	II b	73	96	41	419	片岩	
156-107	8.0	II-13	岩壁		片岩	II a	151	86	18	301	片岩	
157-108	8.1	II-12	岩壁		片岩	II b1	125	85.5	24	339	片岩	
154-93	8.2	II-12	岩壁		片岩	II a	156	76	32	476	片岩	推卸
155-96	8.3	II-20	岩壁		片岩	I b2	86	95.5	36	488	片岩	推卸
153-87	8.6	II-11	岩壁		片岩	I b1	156	90.5	38	715	片岩	推卸
150-75	8.8	II-18	岩壁		片岩	I a	188	119	47	1700	片岩	
156-109	8.9	II-11	岩壁		片岩	I c	105.9	103	40	486	片岩	
161-147	9.0	II-11	岩壁		片岩	II b	135.5	124	40	588	片岩	
153-89	9.1	II-8	岩壁		片岩	I b1	152	83.5	42	783	片岩	推卸
149-72	9.2	II-10	岩壁		片岩	I a	169.9	99	41.5	900	片岩	
160-138	9.3	II-14	岩壁		片岩	II b	100	89	22	247	片岩	
161-143	9.6	II-14	岩壁		片岩	II c	192.5	76	52	962	片岩	
156-122	9.8	II-18	岩壁		片岩	II c	147	76	52	962	片岩	推卸
162-147	9.9	II-8	岩壁		片岩	II a	148	55	24	258	片岩	
160-133	1.0.0	II-9	岩壁		片岩	II b	96.5	80	36	389	片岩	
153-83	1.0.1	II-9	岩壁		片岩	I a	172	122	60	1780	片岩	
151-82	1.0.3	II-9	岩壁		片岩	I a	75.5	73.5	23	178	片岩	
149-71	1.0.6	II-2	岩壁		片岩	I a	84	44	20	83	片岩	
157-110	1.0.7	II-2	岩壁		片岩	II b1	163	99	37	723	片岩	
163-108	1.0.8	II-2	岩壁		片岩	II b	130	77.5	34	399	片岩	
159-134	1.1.0	II-2	岩壁		片岩	II c	196	62	20	165	片岩	
165-150	1.1.3	II-10	岩壁		片岩	V	22	147	57	2363	片岩	
160-145	1.1.3	II-9	岩壁		片岩	II c	133	79.5	45	706	片岩	
164-155		II-18	岩壁		片岩	V	335	154	70	4479.5	片岩	

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
164-156		III V-15	壁層		礎石部	V	255	208	107	7187.1	花崗岩	
163-163	1-15	III W-8	IV層		礎石部	IV	126	86	21.5	470	安山岩	

遺構内出土

II-1出土

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
124-4		III口区	覆土		石鏡	IV	35	12.5	7	2.8	埴貫瓦器	
124-5		III口区	覆土		石鏡	II C	22	9	5	6.6	埴貫瓦器	
124-1		III	床底	S-72	石鏡	I a	35.5	15	5	1.3	埴貫瓦器	
124-6		III PIT3			石鏡	IV	15.5	6	3	0.1	埴貫瓦器	欠損
124-3		III PIT3	覆土		石鏡	II C	25	12.5	5	6.7	埴貫瓦器	
124-2		III PIT3			石鏡	I a	21.5	9	4	0.7	土鏡	アスファルト
124-8		III	覆土	S-84	R.F.		45	20	6	4.4	埴貫瓦器	
124-10		III	覆土	S-108	R.F.		47	27.5	12	10.8	埴貫瓦器	
124-7		III口区	覆土		R.F.		47	48	19	22.9	埴貫瓦器	
124-11		III	床底	S-17	R.F.		65	44.5	16	28.3	埴貫瓦器	
125-15	1	III	覆土	S-48	礎石部	II c	177	102	45	830	安山岩	
125-14	2	III	床底	S-34	礎石部	II b	100	128	45.4	670	榎炭	
125-12	3	III	床底	S-4	礎石部	II b	114	61	27	260	榎炭	
125-13	4	III口区	覆土		礎石部	II c	88	52.5	30.5	153	榎炭	
125-16	5	III	床底	S-8	礎石部	V	220	152	55		榎炭	
125-17		III	床底	S-32	礎石部	V	322.5	266.5	72	10500	内装壁	
126-18		III	床底	S-7	礎石部	V	350	377	111	16500	内装壁	

29-1出土

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
130-1	1	29I-区	覆土		石鏡	II b	33.5	8	6.5	1.7	埴貫瓦器	
130-2	2	29I-区	覆土		石鏡	II C	35	12	7	1.5	埴貫瓦器	
130-3	3	29I	覆土		石鏡	II C	31.5	13	6	2.2	埴貫瓦器	
130-4	4	29I-区	覆土		石鏡	II b	28	9	4	0.5	埴貫瓦器	
130-6	5	29I口区	覆土		石鏡	I a	24	14	6	1.7	埴貫瓦器	アスファルト
130-7	6	29I	覆土	S-15	石鏡(未)		148.5	97	36.5	180.5	埴貫瓦器	
130-11	7	29I	覆土	S-62	R.F.		60.5	31	14.5	20.5	埴貫瓦器	
130-9	8	29I	覆土	S-64	R.F.		45	28	6	6.3	埴貫瓦器	
130-10	9	29I	覆土	S-58	R.F.		52	29.5	10	10.6	埴貫瓦器	
130-8	10	29I	覆土	S-54	R.F.		56.5	26.5	10	13.6	埴貫瓦器	
130-5	11	29I口区	覆土		石鏡	I b	36.5	14	5	1.3	埴貫瓦器	
132-16	1	29I	覆土	S-15	礎石部	II c	120.5	86	49	652	安山岩	
132-15	2	29I	覆土	S-30	礎石部	II c	83	133	46	782	安山岩	
131-12	3	29I	覆土	S-34	礎石部	II c	153.5	112.5	56.2	1418	榎炭	
131-14	4	29I	覆土	S-37	礎石部	II c	119	101	55	992	安山岩	
131-13	5	29I	覆土		礎石部	II c	130	70.5	36	537	安山岩	

3-1出土

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
9-1		38I-区			R.F.		48	29	15	16.7	埴貫瓦器	
9-2		38I-区	覆土		礎石部	VI	52	33.5	27	67.9		
9-3		38I-区	覆土		礎石部	II b	135	85	29	454	安山岩	

4-1出土

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
9-5		48I	覆土	S-14	両面加工石器	II b	91	42	21	51.4	埴貫瓦器	
9-9		48I口区	覆土		石鏡	II a	24.5	14	3.5	1.1	土鏡	
9-8		48I-区	覆土		石鏡	II a	24.5	11	3	0.8	埴貫瓦器	

図面番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	石材	備考
9-10		9H-E区	層土		石	石	22.5	7	3.3	0.3	片貫頁岩	
9-6		9H-E区	層土		石	石	33	16	6.5	3.4	片貫頁岩	
9-7		9H-E区	層土		石	石	47	10.7	8	3.8	片貫頁岩	アスファルト

7H-土

図面番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	石材	備考
12	7H		床面		碑石	V	433	313	120	17005	武蔵石	

8H-土

図面番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	石材	備考
19-1	2	8H	層土	S-32	石	石	100	25	10	19.8	片貫頁岩	
19-2	3	8H	層土	S-35	石	石	61	15	8	4.5	片貫頁岩	
19-3	4	8H	層土	S-22	石	石	51	8	7.3	3.8	片貫頁岩	
19-1	5	8H	層土	S-38	石	石	47	15	9	4.8	片貫頁岩	
19-5	6	8H	層土	S-36	石	石	45.3	12	10	5.1	片貫頁岩	
19-7	7	8H	層土	S-15	石	石	43	15	11.5	9.5	片貫頁岩	
19-8	8	8H	層土	S-17	石	石	34	17	6.1	1.3	片貫頁岩	
19-10	9	8H	層土	S-28	南国加工石	T	76.5	28	18	30.9	片貫頁岩	
19-1	10	8H	層土	S-38	石	石	66	14	8	3.3	片貫頁岩	アスファルト
19-9	11	8H-E区	層土	S-3	石	石	37	19.3	11.5	8.3	片貫頁岩	
19-6	12	8H	層土	S-37	石	石					片貫頁岩	
20-12	3	8H	層土	S-10	碑石	T a	122.5	68.5	41	450	片貫	
21-17	3	8H	層土	S-14	碑石	T a	129.5	67.5	38	373	片貫	
20-14	4	8H	層土	S-21	碑石	T b1	156	108	42	827	片貫	
20-15	5	8H	層土	S-27	碑石	T b2	143.5	74	53	333	片貫	掘り
20-16	6	8H	層土	S-37	碑石	T a	183	80	35	557	片貫	掘り
21-18	8	8H	層土	S-43	碑石	T b1	136	106	39	631	片貫	掘り
20-19	9	8H-E区	層土		碑石	T b2	143.5	80	35	557	片貫	掘り
21-19	10	8H	層土	S-12	碑石	T a	131	85	50	842	片貫	

9H-土

図面番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	石材	備考
25-19	1	9H-E区	層土		石	石	25	10.5	5	1.3	片貫頁岩	
25-13	3	9H-E区	層土		石	石	32	13.5	9	1.2	片貫頁岩	
25-16	4	9H-E区	層土		石	石	45.5	14	9.9	5.5	片貫頁岩	
25-11	5	9H-E区	層土		石	石	32	16	12	6.3	片貫頁岩	
25-6	6	9H-E区	層土		石	石	41	16	6.5	3.6	片貫頁岩	欠
26-27	7	9H-E区	層土		石	石	44.5	57	5.5	17.6	片貫頁岩	欠
26-29	9	9H-E区	層土		石	石	34	48	6.5	17.6	片貫頁岩	
27-38	10	9H-E区	層土		石	石	35.5	40	12	17.6	片貫頁岩	
27-5	11	9H-E区	層土		石	石	31.5	12.3	5	1.8	片貫頁岩	
26-44	13	9H-E区	層土		石	石	41.5	23	9.5	6.7	片貫頁岩	
26-31	14	9H-E区	層土		石	石	45.5	27	7	8.1	片貫頁岩	
27-34	15	9H-E区	層土		石	石	39.3	21	9	7.3	片貫頁岩	
28-51	19	9H-E区	層土		石	石	39	33	5	9	片貫	
25-1	20	9H-E区	層土		石	石	26	9.5	3	0.6	片貫頁岩	
25-10	22	9H-E区	層土		石	石	62	19	6	4.7	片貫頁岩	
25-42	23	9H-E区	層土		石	石	45.5	13	9	4.1	片貫頁岩	
25-4	24	9H-E区	層土		石	石	39.5	14.5	5	2.2	片貫頁岩	欠
27-36	25	9H-E区	層土		石	石	72.5	33	8	15	片貫頁岩	
27-35	26	9H-E区	層土		石	石	89.5	27	15.5	46.8	片貫頁岩	
27-32	27	9H-E区	層土		石	石	58.5	22.5	13	14.3	片貫頁岩	
27-37	28	9H-E区	層土		石	石	57	40	10	21.6	片貫頁岩	
28-16	30	9H-E区	層土		石	石	63	31.5	12	17.7	片貫頁岩	

国庫番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	備考
25-3	3.1	98H区	層土		石鏡	I a	29.5	26.9	7	4.3	埴貫頁岩	アスファルト	
25-2	3.3	98H区	層土		石鏡	I a	34.5	23.5	6.5	1.7	埴貫頁岩		
27-33	3.4	98H区	層土		埴貫加工石	II c	88	30	17	40.3	埴貫頁岩		
25-18	3.6	98H区	層土		石鏡	II a	22	18	4.5	1.3	埴貫頁岩		
25-9	3.7	98H区	層土		石鏡	I b	33	13	7	2.8	埴貫頁岩		
26-34	3.8	98H区	層土	S-X	石鏡	II c	67	35.5	12	25.4	埴貫頁岩		
28-45	3.9	98H区	層土	S-X	石鏡		83	31	13	28	埴貫頁岩		
26-52	4.1	98H区	層土		埴貫		29.5	17	6	0.8	埴貫頁岩		
25-7	4.2	98H区	層土		石鏡	I b	36	14	6	1.5	埴貫頁岩	欠	
25-1	4.3	98H区	層土		石鏡	I a	29.5	11.5	4	0.8	埴貫頁岩		
25-22	4.4	98H区	層土		石鏡(欠損)		22	10.5	4.5	0.3	埴貫頁岩		
28-47	4.5	98H区	層土		ブランクタ		22.8	20	10	4.5	埴貫頁岩		
28-45	4.6	98H区	層土		C		8.8	9	2	0.1	埴貫頁岩		
28-49	4.7	98H区	層土		C		9.5	9	2.5	0.1	埴貫頁岩		
28-50	4.8	98H区	層土		C		8	17	3.5	0.4	埴貫頁岩		
26-25	4.9	98H区	層土		石鏡	つまみぎ	13.5	14.5	6	1	埴貫頁岩		
26-42	5.5	98H区	層土		F		47	26	14.5	6.4	埴貫頁岩		
25-17	5.6	98H区	層土	鏡	未製品?	IV	31	14	9	1.9	埴貫頁岩		
25-30	5.7	98H区	層土		石鏡(平)	III b	33	25	7.5	2.8	埴貫頁岩		
25-71	5.8	98H区	層土	鏡	未製品?	IV	30	13	6	2.3	埴貫頁岩		
25-15	5.9	98H区	層土		石鏡	II c	32	16	8.5	4.2	埴貫頁岩		
28-43	6.0	98H区	層土		F		41.5	27	7.5	5.4	埴貫頁岩		
25-8	6.2	98H区	層土		石鏡	I b	33.5	12	4.5	1.3	埴貫頁岩		
26-23	6.3	98H区	層土		石鏡	II c	57	32	14	18.3	埴貫頁岩	欠	
26-28	6.4	98H区	層土		石鏡	IV b	33.5	46.5	8	10.8	埴貫頁岩		
26-26	6.5	98H区	層土	S-X	石鏡	II c	47	26.5	9	8.8	埴貫頁岩	欠	
26-30	6.6	98H区	層土		石鏡	IV c	53	44	15.5	17.8	埴貫頁岩		
27-40	6.7	98H区	層土		R.F		38	35.5	9	9.5	埴貫頁岩		
27-39	6.8	98H区	層土		R.F		24	4	7	6	埴貫頁岩		
28-41	6.9	98H区	層土		R.F		52	35	11	14.4	埴貫頁岩		
29-55	1	98H区	層土	S-6	鏡石部	I b1	173.5	75	39	594	安山岩		
29-56	2	98H区	層土	S-4	鏡石部	I b1	172	92	35	772	安山岩		
29-57	3	98H区	層土		鏡石部	I b2	159	104	38	934	安山岩		
30-61	4	98H区	層土	S-10	鏡石部	II b2	152	99	33	618	安山岩		
31-63	5	98H区	層土 4層		鏡石部	II b1	90	85	25	226	安山岩		
30-58	6	98H区	層土 5層		鏡石部	I b1	85	110	33	550	安山岩		
30-60	7	98H区	層土		鏡石部	I d	141.5	101	48	910	安山岩		
29-53	8	98H区	層土		鏡石部	I a	125	90.5	41.5	700	安山岩		
31-66	10	98H区	層土		鏡石部	III c	134	109	43	985	安山岩		
31-67	12	98H区	層土		鏡石部	II a	136	67	24	321	安山岩		
31-65	13	98H区	層土		鏡石部	II a	137	69	27	371	安山岩		
31-64	14	98H区	層土 8層		鏡石部	II b1	119	65	13	187	安山岩		
29-54	15	98H区	層土		鏡石部	I a	91	72.5	30	233	安山岩		
30-59	16	98H区	層土	S-8	鏡石部	I b1	85	80	31	281	安山岩		
32-67		98H区	層土	S-3	鏡石部	V	550	173	63	11005	安山岩		

10H出土

国庫番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	備考
32-68		10H	6層	S-4	鏡石部	V	305	348	114	20500	流紋岩		

12H出土

国庫番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石	材	備考
39-4		12H	層土	S-4	鏡石部	I b2	121	110	34	1024	安山岩		

139-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
36-2		139H	層土		F		61.5	36	12	11.6	珧質頁岩	
36-2		139H	層土		F		57	34.5	12	22.2	珧質頁岩	
36-1		139H	層土	S-1	礫石部	II b	83.5	39	11	17.5	珧質頁岩	
36-4		139H	層土	S-9	礫石部	II b	163	55	25	979	安山岩	

140-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
38-1		140H		S-3	石部	II a	40	22	9	2.8	珧質頁岩	
38-1		140H		S-10	石部	II a	66.5	30.5	17	35	珧質頁岩	
38-2		140H	層土		珧質部	II c	62.5	34.5	14	25.8	珧質頁岩	
38-3	1	140H	層土	S-1	礫石部	I d	160	95.5	34	772	石綿軸川	
38-4	2	140H	層土	S-17	礫石部	I a	190.5	131.5	39	1499	流紋岩	

150-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
40-6		150P/T1	層土		礫石部	II b	113	66.5	46	446	流紋岩	

160-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
42-1		160H	層土	S-11	礫石部	I a	147	95	48	941	流紋岩	
42-2		160H	層土	S-2	礫石部	II a	71	62	50	288	流紋岩	

170-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
45-4		170H	層土		石部	IV a	25.5	61.5	13	40.9	珧質頁岩	
45-3		170H	層土		石部(欠)	V	24	33.5	4	5.9	珧質頁岩	
45-1		170H	層土下層		石部	II C	34.5	19	5	1.5	珧質頁岩	
45-1		170H	層土		石部	II C	75	34.5	11	18.5	珧質頁岩	
45-2		170H	層土		礫石部		76.5	35	19	92.4	頁岩	
45-6	1	170H	層土		礫石部	I a	120	93.5	38.5	789	流紋岩	
45-11	2	170H	層土		礫石部	II b1	76	66	16	107	安山岩	
45-10	3	170H	層土	S-36	礫石部	II a	133.5	93	16	107	流紋岩	
46-7	4	170H	層土	S-4	礫石部	I a	138	95	44	914	安山岩	
46-9	3	170H	層土	S-7	礫石部	I a	161	99.5	35	686	安山岩	
46-5	6	170H	層土	S-35	礫石部	I b2	97.5	75	39	472	安山岩	

180-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
54-7	1	180H	層土		礫石部	I b2	123	79.5	30	549	安山岩	
54-6	2	180H	床面	S-1	礫石部	I d1	42	82.5	33	513	安山岩	

190-4出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
62-5	2	190H	層土		礫石部	II d	75	87	18	158	流紋岩	押り

土坑出土

図版番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
134-11		4上	層土	S-10	礫石部	II b	119	108	62	1107	流紋岩	
163		6土H R-16	層土		石部		30	15	5	2.3	珧質頁岩	
163		13土H R-24	層土		石部(凹)	II a	79.5	13.5	6	2.2	珧質頁岩	アスファルト
164		14上	層土		石部	I a	180	87.5	42	689	石炭安山岩	
165		13土H R-21	層土		石部		31.5	13	7	2.8	珧質頁岩	アスファルト
167		13土H R-21	層土		R		25	19.5	14	2.1	流紋岩	

図録番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考
104-2	1	14土	層土		礫石器	I a	157	95	41	729	安山岩	焼付
104-3	2	14土	層土		礫石器	II b	136	78	30	383	凝灰岩	
104-4		16土	層土		礫石器	I c	130.5	76.5	47.5	593	安山岩	焼付
104-5		17土II Q-16	層土成灰		石砧		66	25	7	5.2	珪質頁岩	
104-6		17土II Q-16	層土		石砧	I b	52	37	10	13.8	珪質頁岩	
104-7		17土	層土		礫石器	II b	138	65.5	22.5	259	凝灰岩	
103		18土	層土		石砧	II d	32	30	13	5.5	珪質頁岩	
103		19土	層土		両面加工石器	II c	57	26	9	16.4	珪質頁岩	
105		22土	層土(流)		石鏃	II a	21.5	13	4	0.7	黒曜石	透明度有り
105-2		24土II M-24-25	層土		F		35.3	27.5	6.5	2.5	珪質頁岩	
105-1		24土	層土		片削	II a	23.5	26	16	14.2	珪質頁岩	
105-5		24土	層土成灰		礫石器	II b1	123	114	38.5	794	石萬安山岩	
105-6		24土	層土		礫石器	II a	100	66	77	642	石萬安山岩	
105-3		25土II S-17	層土		石砧	IV b	38	31	14	24	珪質頁岩	
105-4		25土	層土		礫石器	I d	183.5	120	53.5	1385	安山岩	
105-3		28土II F-20	層土		石砧	I a	130	33	11	21	珪質頁岩	
105-2		28土	層土		石砧	I a	63	28	10	7.3	珪質頁岩	
105-1		28土II P-20	層土		石鏃	II a	41	13.5	4.5	1.6	珪質頁岩	
105-5		32土II S-18	層土		石鏃		35	32	18	45.5	珪質頁岩	
105-6		32土II S-18	層土		F		24.5	30	10	6.1	珪質頁岩	
106-4		32土II S-18	層土		石鏃	II a	24.5	11	2.5	0.4	珪質頁岩	
106-7		38土口区	層土		コア?		36.5	31.5	27	21.3	黒曜石	
106-8		38土口区	層土		コア?		25.5	18.5	16.5	5.5	黒曜石	
107-1	1	39土	層土		礫石器	I b1	152	100.5	46.2	1079	安山岩	
107-3	2	39土	層土		礫石器	I d1	36.5	30.5	57	784	安山岩	
108-2		40土	層土		石鏃	II C	30.5	13	7.5	2.7	珪質頁岩	
108-3		40土	層土		石鏃	II b	35	13	9	3.3	珪質頁岩	
108-1		40土	層土		片削	IV	35	13	6	1.3	珪質頁岩	
115-9		42土	層土		礫石器	V	252	288	94	12500	流紋岩	
108-1		48土II R-20	層土		石砧	II b2	23.2	29.5	10	6.7	珪質頁岩	
110-1		57土	層土	S-1	両面加工石器		132	39	25	72	珪質頁岩	
110-2		57土	層土	S-2	両面加工石器		136	59.8	23.5	74.4	珪質頁岩	
111-3		57土	層土	S-3	両面加工石器		142	51	28.5	71.5	珪質頁岩	
112-4		57土	層土	S-4	両面加工石器		173.5	78	30	143.7	珪質頁岩	
111-5		57土	層土	S-5	両面加工石器		142.8	56.8	23	68.5	珪質頁岩	
113-6		57土	層土	S-6	両面加工石器		136	59.8	23.5	113.5	珪質頁岩	
113-7		57土	層土	S-7	両面加工石器		131	61	74	87.9	珪質頁岩	
114-3		58土II Y-18	層土		石砧	II a	65	36	7	10.3	珪質頁岩	光沢
114-4		58土	層土		磨盤	未製品?	44	27	12.5	23.8	緑凝灰岩	
114-5		58土II N-18	層土		石砧	II a	85	38	26	79.9	珪質頁岩	
114-1		58土II N-18	層土		石鏃(糸)	?	40.5	21.3	11	9.4	珪質頁岩	
115-7	1	58土	層土		礫石器	I d	138	87.5	49	746	安山岩	
114-5	2	58土	層土		礫石器	I a	137.5	85.5	33.5	658	凝灰岩	
114-6	3	58土	層土		礫石器	I c	124	112.5	45.5	1043	流紋岩	
115-8	4	58土	層土		礫石器	II b	127	66.5	27.5	410	流紋岩	
117-1		67土	層土		石砧		138	18	26.3	珪質頁岩		
117-2		67土	層土		石砧	I a	85.5	30.5	9.5	11.6	黒曜石	
117-1		68土II Q-11S-9	層土		石鏃	II a	46	46.5	5	1.6	珪質頁岩	
117-5		68土II Q-11	層土		石鏃	II a	44	14.5	4	1	珪質頁岩	
117-3		68土II Q-14	層土	S-8	石鏃	II a	69.3	18	5.5	5.4	珪質頁岩	
117-6		68土II Q-14	層土	S-7	礫石器	II	56	41	12.5	36	頁岩	
118-2		73土	層土		磨盤石		94	42.5	14	96.4	頁岩	
118-1		73土口区	層土		石砧		81	35	21	52.7	珪質頁岩	
118-3		73土口区	層土		コア?		36	37	12	6.7	黒曜石	

区域番号	整理番号	出土位置	出土層位	遺物番号	大分類	細分類	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)	石 材	備 考
110-4		73土	層上		石硯	Ⅱc	78.5	25.5	9.5	16.2	井筒灰岩	光沢
109-1		52土	層上		燧石器	M	100.5	113.5	114	832	流紋岩	
109-2		82土	層土		燧石器	Ia	180	99.5	45	1076	凝灰岩	
109-3		85土	層土		燧石加工石砦	Ⅱc	57	37	15.5	28.7	井筒灰岩	
109-4		82土	層上		燧石器	V	332	273	100	8043.3	凝灰岩	
102		87二	層土		石硯	Ib	39	14	7	2.2	井筒灰岩	
110-5	1	95土	層土		燧石器	Ⅱb	121.5	109.5	53.5	830	凝灰岩	
110-1	2	95土	層土		燧石器	Ib1	146.5	85.5	4	698	凝灰岩	
110-2	3	95土	層土		燧石器	Ⅱa	127.5	65.5	45.5	533	凝灰岩	
110-4		94土	層土		石		18.5	21	5.5	1.7	黒曜石	
110-6		94土	層土		石		17	17	3	0.7	黒曜石	
110-5		94土	層土		石		18	23	4.5	1.8	黒曜石	
110-7		94土	層土		石砦	Ia	84	19	8.5	13.9	井筒灰岩	
110-8		94土	層土		燧石器		102.5	73.5	22.5	194	安山岩	

写 真 图 版



調査前風景



調査前風景



調査前風景



トレンチ設定調査風景



基本層序

N→



第3号竪穴住居跡遺物出土状況



第3号竪穴住居跡がセクション

E→



第3号・第12号竪穴住居跡遺物出土状況

S E→

写真1 調査風景・竪穴住居跡(1)



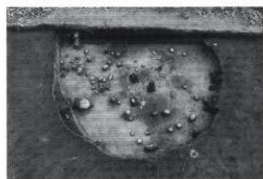
第3号・第12号竪穴住居跡完掘

SW→



第4号竪穴住居跡セクション

W→



第4号竪穴住居跡遺物出土状況

SE→



第4号竪穴住居跡完掘

SE→



第5号竪穴住居跡セクション

W→



第5号竪穴住居跡完掘

W→



第5号・第7号竪穴住居跡セクション

NW→



第7号竪穴住居跡セクション

SW→

写真2 竪穴住居跡(2)



第7号竪穴住居跡セクション

SW→



第7号竪穴住居跡セクション

NW→



第7号竪穴住居跡セクション

NW→



第5号・第7号竪穴住居跡完掘

NW→



第8号竪穴住居跡遺物出土状況

E→



第8号竪穴住居跡遺物出土状況

E→



第8号竪穴住居跡遺物出土状況

E→



第8号竪穴住居跡遺物出土状況

E→

写真3 竪穴住居跡(3)



第8号竪穴住居跡遺物出土状況



第8号竪穴住居跡遺物出土状況

E→



第8号竪穴住居跡セクション

SE→



第8号竪穴住居跡完掘

E→



第9号竪穴住居跡遺物出土状況

S→



第9号竪穴住居跡遺物出土状況

S→

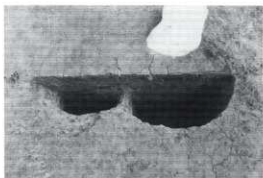


第9号竪穴住居跡遺物出土状況



第9号竪穴住居跡遺物出土状況

写真4 竪穴住居跡(4)



第9号竪穴住居跡セクション

S→



第9号竪穴住居跡完掘

S→



第13号竪穴住居跡セクション



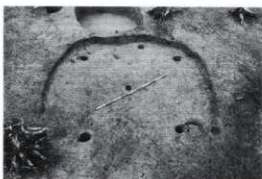
第13号竪穴住居跡遺物出土状況

E→



第13号竪穴住居跡遺物出土状況

N→



第13号竪穴住居跡完掘

NW→



第14号竪穴住居跡セクション

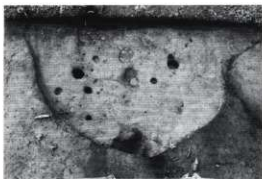
S→



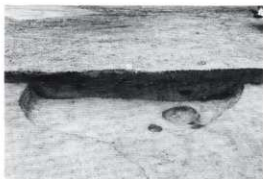
第14号竪穴住居跡炭化材出土状況

W→

写真5 竪穴住居跡(5)

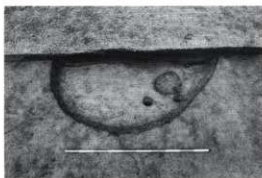


第14号竪穴住居跡完掘



第15号竪穴住居跡セクション

SE→



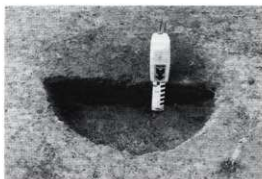
第15号竪穴住居跡完掘

SE→



第16号竪穴住居跡・第48号土坑セクション

SW→



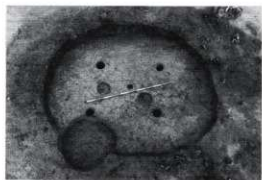
第16号竪穴住居跡セクション

E→



第16号竪穴住居跡セクション

E→



第16号竪穴住居跡・第48号土坑完掘

W→



第17号竪穴住居跡遺物出土状況

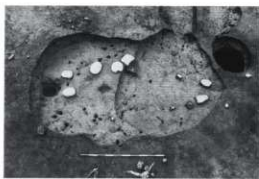
E→

写真6 竪穴住居跡(6)



第17号竪穴住居跡完掘

SE→



第10号・18号竪穴住居跡完掘

E→



第19号竪穴住居跡セクション

S→



第19号竪穴住居跡完掘

S→



第20号竪穴住居跡セクション

N→



第20号竪穴住居跡完掘

S→

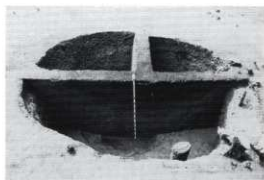


調査風景



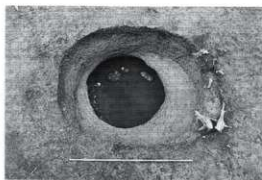
調査風景

写真7 竪穴住居跡(7)



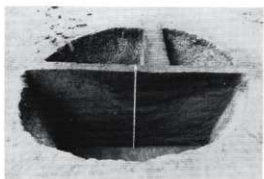
第12号土坑セクション

E→



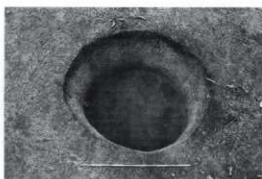
第12号・33号土坑完圖

E→



第13号土坑セクション

S→



第13号土坑完圖

E→



第15号土坑完圖

S→



第52号土坑短軸セクション

SW→



第35号土坑セクション

S→



第35号土坑完圖

S→

写真8 土 坑 (1)



第82号土坑セクション

N→



第82号土坑完掘

N→



第83号土坑セクション

W→



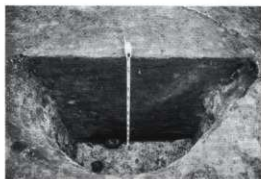
第83号土坑セクション

W→



第83号土坑完掘

N→



第1号土坑完掘

S→



第1号土坑遺物出土状況

W→



第6号土坑遺物出土状況

S→

写真9 土 坑 (2)



第6号土坑遺物出土状況

E→



第6号土坑遺物出土状況

E→



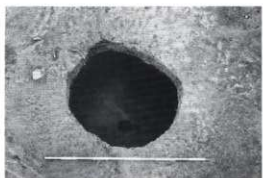
第6号土坑遺物出土状況

E→



第6号土坑遺物出土状況

E→



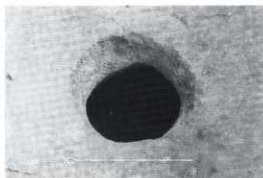
第6号土坑完掘

S→



第8号土坑セクション

E→



第8号土坑完掘

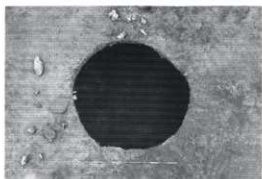
S→



第10号土坑セクション

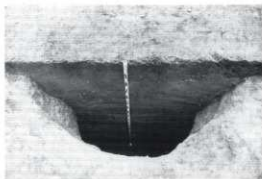
W→

写真10 土 坑 (3)



第10号土坑完掘

W→



第11号土坑セクション

E→



第11号土坑完掘

S→



第14号土坑セクション

E→



第14号土坑完掘

E→



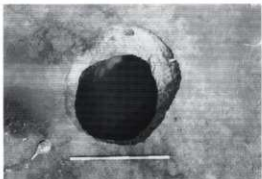
第16号土坑セクション

W→



第16号土坑完掘

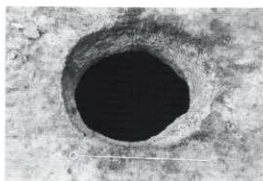
S→



第17号土坑完掘

S→

写真11 土 坑 (4)



第17号土坑完掘

S→



第19号土坑完掘

S→



第21号土坑セクション

E→



第21号土坑完掘

E→



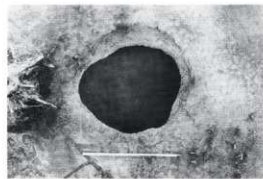
第22号土坑遺物出土状況

E→



第22号土坑セクション

E→



第22号土坑完掘

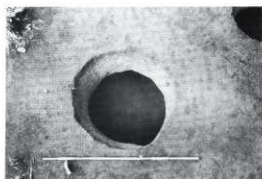
S→



第23号土坑セクション

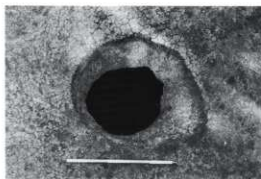
E→

写真12 土 坑 (5)



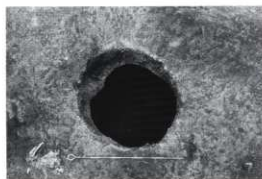
第23号土坑完掘

S→



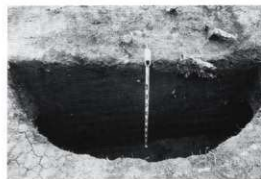
第24号土坑完掘

S→



第25号土坑完掘

S→



第26号土坑南北セクション

E→



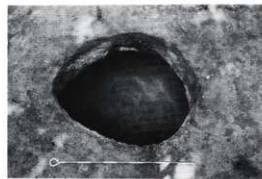
第27号土坑完掘

S→



第28号土坑セクション

E→



第31号土坑完掘

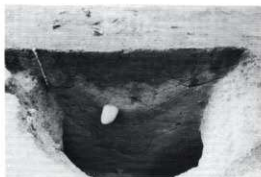
E→



第7号竪穴住居跡内第34号土坑内完掘

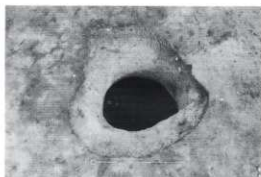
W→

写真13 土 坑 (6)



第39号土坑セクション

E→



第39号土坑完掘

W→



第40号土坑セクション

E→



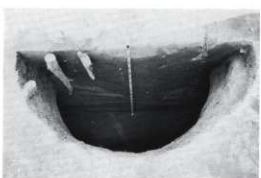
第40号土坑完掘

S→



第42号土坑

S→



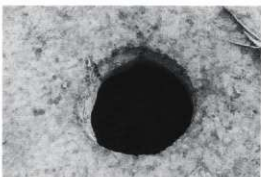
第42号土坑セクション

S→



第42号土坑完掘

S→



第45号土坑完掘

W→

写真14 土 坑 (7)



第46号土坑完掘

E→



第47号土坑セクション

S→



第48号土坑・第16号竪穴住居跡

W→



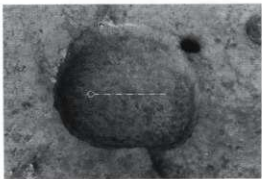
第48号土坑セクション

SW→



第48号土坑遺物出土状況

SW→



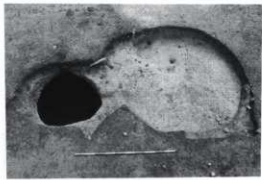
第48号土坑完掘

SW→



第51号土坑遺物出土状況

SW→



第51号・第52号土坑完掘

NW→

写真15 土 坑 (8)



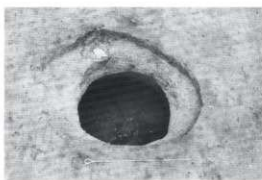
第53号土坑完掘 (第7号竈穴住居跡と切合) N→



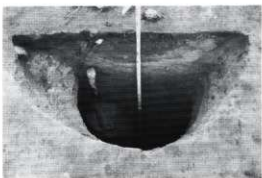
第54号土坑完掘 S→



第57号土坑遺物出土状況 NW→



第57号土坑完掘 NW→



第58号土坑セクション E→



第58号土坑遺物出土状況



第58号土坑遺物出土状況



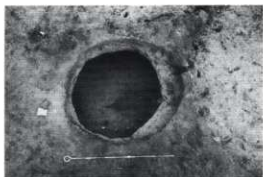
第58号土坑完掘 E→

写真16 土 坑 (9)



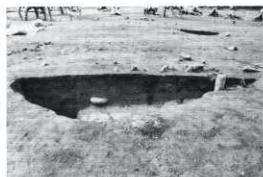
第60号土坑完掘

N→



第61号土坑完掘

N→



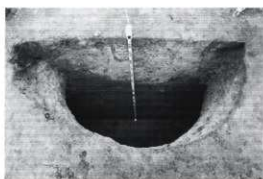
第62号土坑セクション

E→



第63号土坑完掘

E→



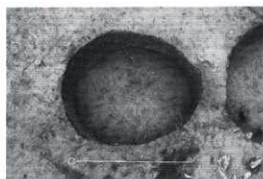
第64号土坑セクション

E→



第64号土坑完掘

E→



第65号土坑完掘

S→



第66号土坑完掘

E→

写真17 土 坑 (10)